



2020年3月期第1四半期決算説明資料



2019年7月25日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

I 2020年3月期第1四半期決算ハイライト
および2020年3月期業績予想

II 2020年3月期第1四半期決算概要

I 2020年3月期第1四半期決算ハイライト および2020年3月期業績予想

II 2020年3月期第1四半期決算概要

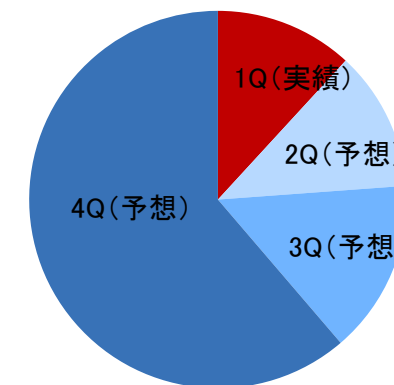
'20/3期1Q 決算ハイライト(連結)

* 受注高

当1Q受注高は前期実績を上回る。⇒年間受注予想は変更なし。

(参考)受注残高：'19/3期1Q末 1,497億円 ⇒ '20/3期1Q末 1,563億円

'20/3期四半期別売上構成



* 売上高・利益

当1Q実績は国内EPC、海外が順調に推移し、**増収増益**。

⇒通期業績予想は変更なし。当期の工事進行見通しを精査し、**2Q決算発表時に公表**。

(億円)

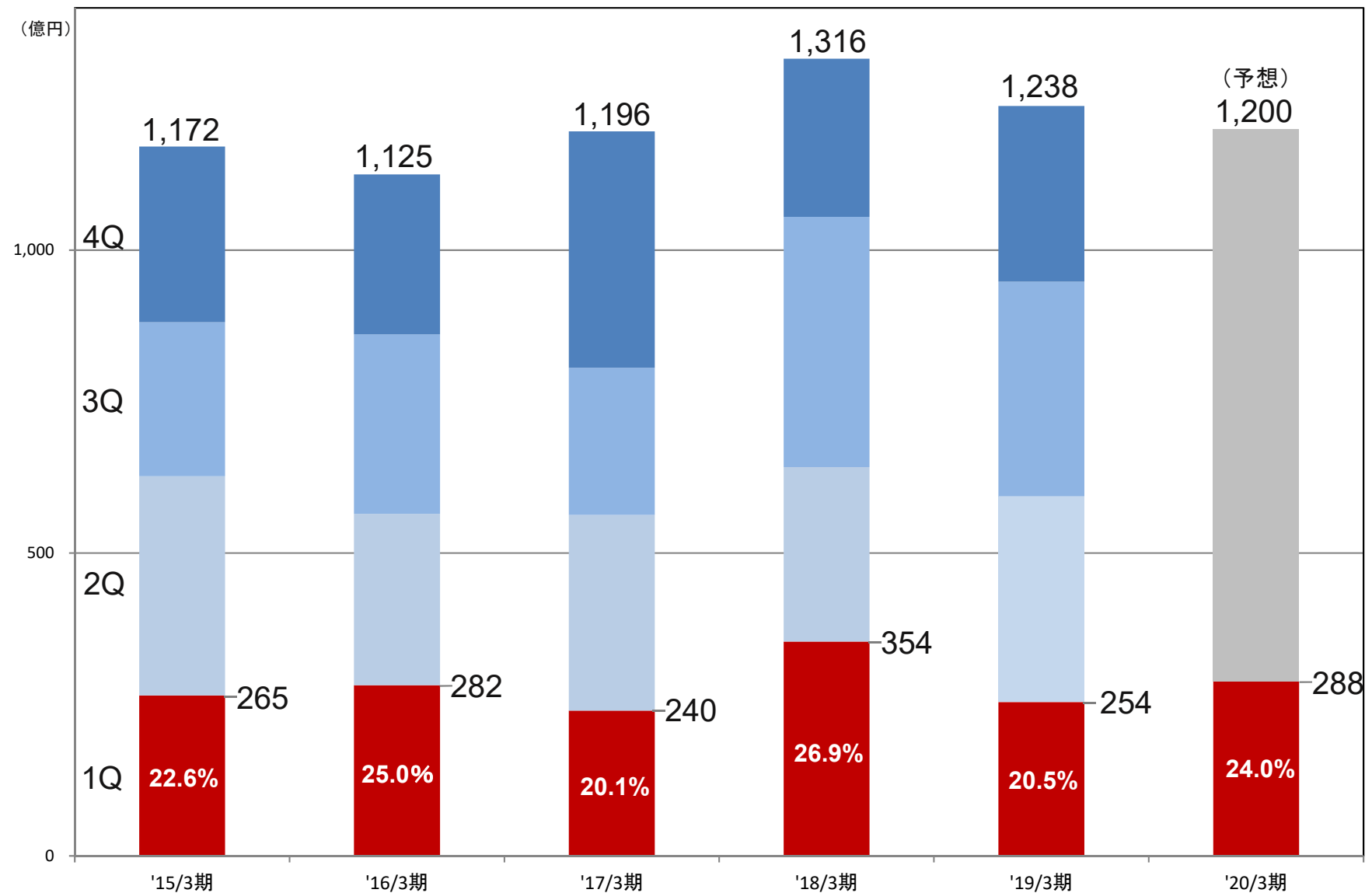
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益*	年間配当(円)
'20/3期 1Q実績	288	148	-16	-17	-12	-
	前期比: +35 +13.6%	前期比: +33 +28.2%	前期比: +8	前期比: +4	前期比: +3	
'19/3期 1Q実績	254	116	-23	-21	-15	-
'20/3期 予想 ('19.4.25公表)	1,200	1,250	80	80	55	62
	前期比: ▲38 ▲3.1%	前期比: +77 +6.5%	前期比: +4 +5.2%	前期比: +4 +4.9%	前期比: +3 +6.4%	

※10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

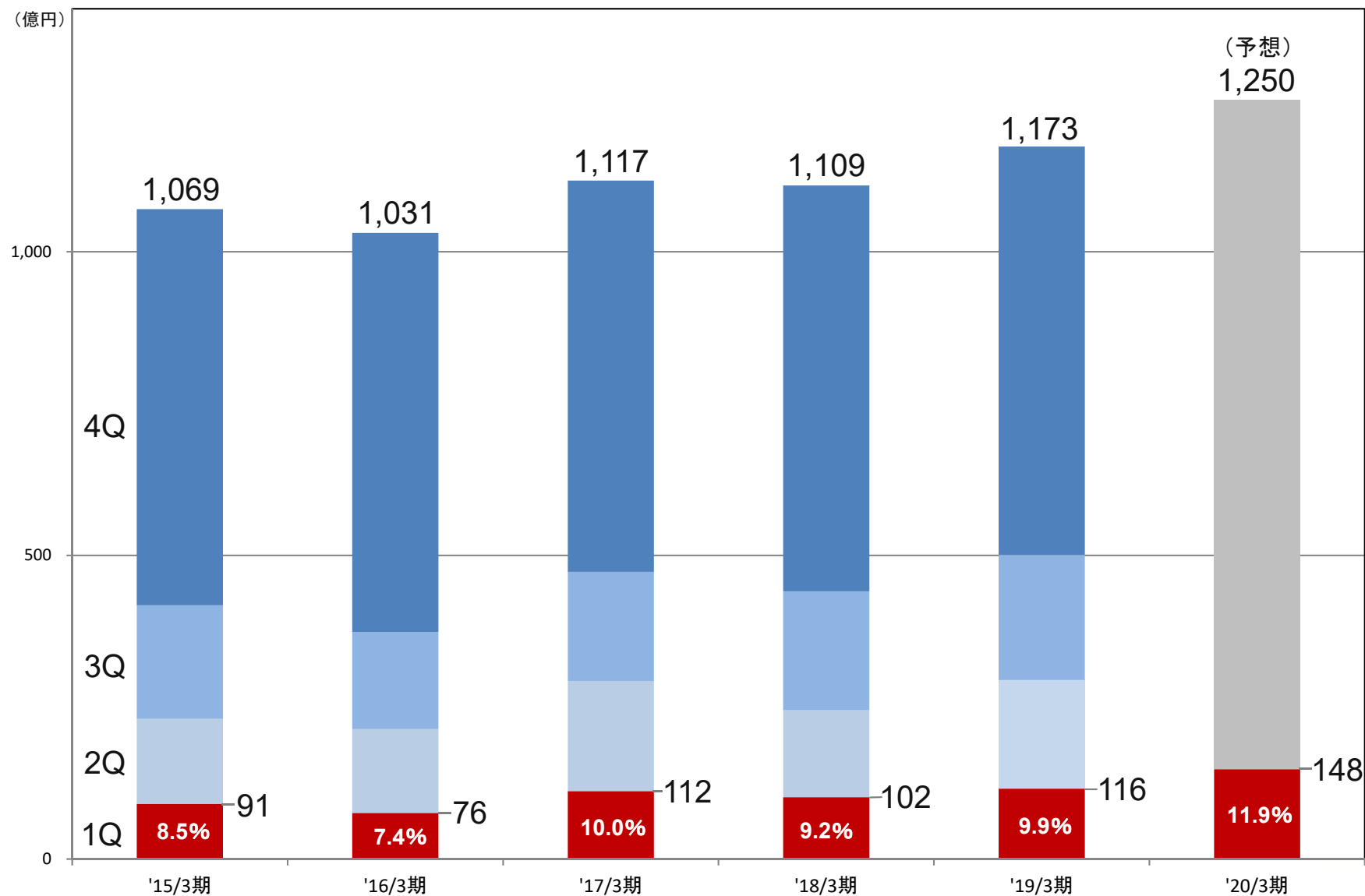
'20/3期1Q 受注高推移

例年1Qの受注高は年間の25%前後。当1Qも例年並みの水準



'20/3期1Q 売上高推移

当社グループの事業は、国内公共事業が大半で、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年1Qの売上高は年間の1割程度。当1Qの売上高も例年並みの水準



事業活動

- * イノベーションセンターを新設(4月)
- * 当社グループのAqua-Aerobic Systems, Inc.(米国)がFUCHS Enprotec GmbH(ドイツ)の全株式を取得(4月)
- * 共通部品センターを設置し運用を開始(6月)

(参考) メタウォーター総合研究所株式会社を設立(7月) ※2019年6月20日報道発表

技術・開発

- * 水環境専用コントローラ新モデル「ZLS」を開発(4月)
- * 「単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術実証研究」が平成31年度 B-DASH*プロジェクトに採択(4月)
- * 「低動力型消化槽攪拌装置」が一般社団法人日本産業機械工業会第45回優秀環境装置表彰「日本産業機械工業会会長賞」を受賞(6月)

ESG

- * 水源林保全のほか、小学校への出前授業や地域住民向けの啓発活動等を実施(4月~6月)
- * テレワーク制度、週休3日制度の運用を開始(6月)



目次

I 2020年3月期第1四半期決算ハイライト
および2020年3月期業績予想

II 2020年3月期第1四半期決算概要

II 2020年3月期第1四半期決算概要

1 連結損益計算書

2 セグメント情報

3 連結貸借対照表

4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

	'19/3期 1Q実績	'20/3期 1Q実績	増 減
売 上 高	116	148	+33
営 業 利 益	-23	-16	+8
(営 業 利 益 率)	-20.0%	-10.5%	+9.5%
経 常 利 益	-21	-17	+4
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	-15	-12	+3

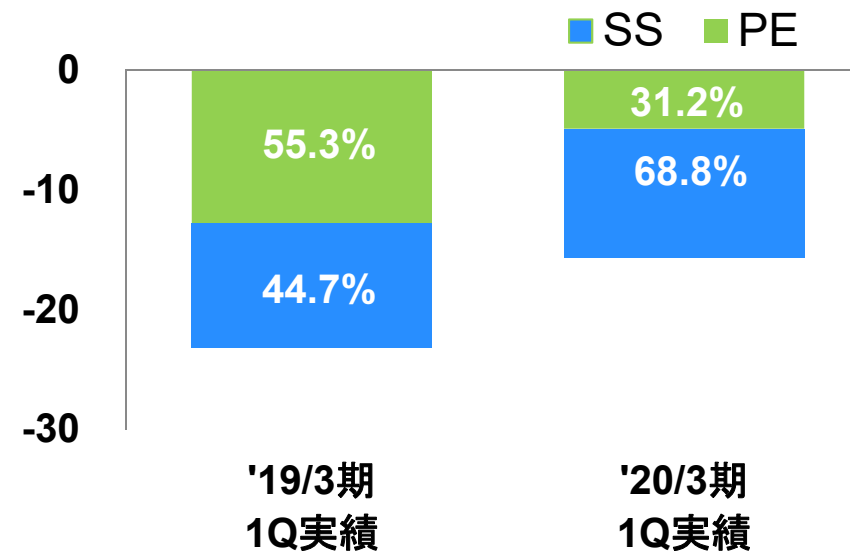
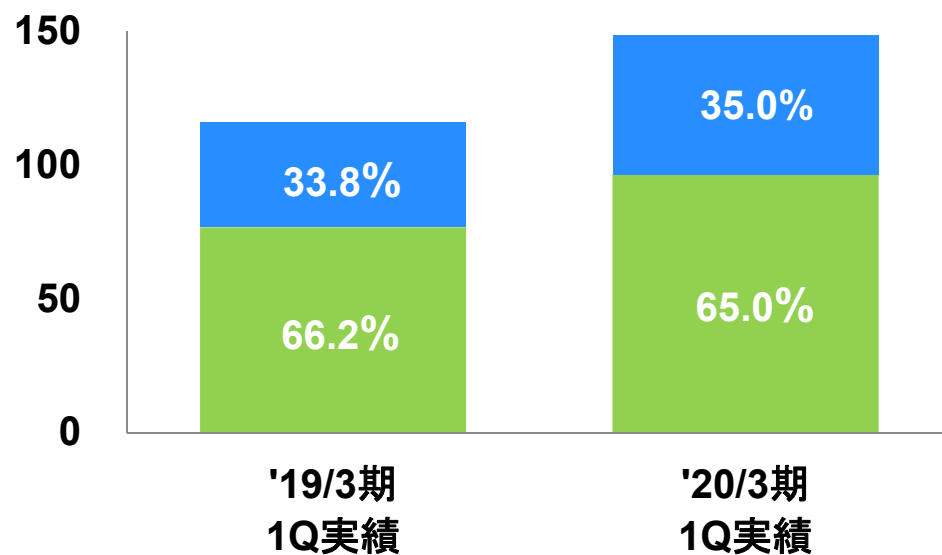
*10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント情報

(億円)

	売上高		
	'19/3期 1Q実績	'20/3期 1Q実績	増 減
PE	77	96	+20
SS	39	52	+13
合計	116	148	+33

営業利益			
'19/3期 1Q実績	'20/3期 1Q実績	増 減	
-13	-5	+8	
-10	-11	▲0	
-23	-16	+8	



連結貸借対照表

(億円)

	'19/3期 期末実績	'20/3期 1Q末実績	増 減
現金・預金	286	545	+259
売上債権	763	370	▲392
棚卸資産	86	117	+31
その他	21	19	▲2
流動資産計	1,155	1,051	▲104
有形固定資産	32	33	+1
無形固定資産	61	63	+3
繰延税金資産	33	32	▲0
その他	46	47	+1
固定資産計	171	175	+4
総資産計	1,326	1,226	▲100

	'19/3期 期末実績	'20/3期 1Q末実績	増 減
買入債務	303	227	▲76
短期借入金 ^{*1} (8)	12	(9) 11	▲1
前受金	161	188	+27
その他	87	59	▲28
流動負債計	563	485	▲78
長期借入金 ^{*2} (107)	126	(103) 121	▲4
その他	47	47	▲0
固定負債計	173	168	▲4
負債計	736	653	▲83
純資産計	590	573	▲17
負債・純資産合計	1,326	1,226	▲100

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

*3 : 当四半期より、買収したFUCHS社に関する資産(のれん含む)・負債を新規連結しております

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'19/3期 1Q実績	'20/3期 1Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	250	278	+28
営業キャッシュ・フロー	270	276	+5
投資キャッシュ・フロー	-1	-3	▲2
フリー・キャッシュ・フロー	269	272	+3
財務キャッシュ・フロー	-6	-13	▲7
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	0	0
現金・現金同等物の期末残高	513	537	+24

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にも有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 経営企画本部 CSR推進室 広報IR部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	汐留第二ポンプ所電気設備再構築工事	東京都	PE

運転・維持管理 新規受託／業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	東白川村簡易水道施設運転管理委託業務 [新規受託・業務開始]	岐阜県	SS
	福知山市上水道事業等包括的民間委託業務 [業務開始(既受託分)]	京都府	SS